

特集

# 平成30年度の 予算が 決まりました

総合計画に掲げる重点テーマ  
「子ども」「くらし」「地域」  
を中心に、主な事業や予算の  
特徴についてお知らせするね



合計

**2,736億4,567万4千円**  
(前年度比106億1,701万2千円減)

一般会計 1,553億1,000万円

特別会計 1,183億3,567万4千円

(国民健康保険事業や動物園事業など13事業)

【詳細】政策調整課 25・5358、財政課 25・5672

## 病児保育を新たに開始

重点

保護者の子育てと就労等の両立を支援するため、急な病気の子供を一時的に預かる病児保育を4月から実施します

関連予算 **2,235万5千円**



さらに詳しく

**ところ** 北彩都病児保育室・まほうのちから(宮下通11 ☎74・5334)

**対象** 生後5か月～小学3年生

**時間** 8:00～18:00(日曜日、祝日、年末年始は除く)

**料金** 1日5時間以上は2,000円、5時間未満は1,000円(同一疾病による2日目以降の利用は1日1,000円)

※利用には事前登録が必要。給食を希望する場合は1日300円。施設の看護師が保育所等へ迎えに行く「お迎えサービス」を利用する場合1日500円が別途必要。



未来を担う子供たちが、健やかに育つ環境を整えるための予算だよ



こども  
生き生き未来づくり

## 産後の母子へのケアを新たに実施

新規  
重点

支援を必要とする産後4か月未満の母子に、宿泊または日帰りで母体のケアや育児指導を実施します(自己負担原則1割)

関連予算 **99万9千円**

## 保育環境充実のための保育士の確保

新規  
重点

保育士資格取得に要する費用や、保育所等の設置者が若手保育士のために借り上げる宿舍費用の一部を補助し、保育士の確保を図ります

関連予算 **2,560万円**

## 子ども医療費の助成対象を拡充

重点

8月から、中学生の通院に係る医療費を助成します

関連予算 **7億838万円**

## 各種大会への選手派遣費の補助基準単価を増額

重点

スポーツや文化活動に取り組む児童生徒が、全道・全国大会へ参加する際に必要な費用の補助基準単価の上限を、宿泊費を4,000円、交通費を全道4,500円、全国38,000円に増額します

関連予算 **1,225万円**

観光振興や雇用機会の拡大、人材育成など、地域の活性化につながる予算だよ



11月オープン予定の旭川空港国際線ターミナル

## 広域観光の推進

新規  
重点

上川圏域での滞在型・通年型観光を広域で推進するため、「大雪カムイミントラDMO」が取り組むカムイスキーリンクスを拠点としたスノーリゾート地域の構築やマーケティング調査等を支援します

関連予算 1億1,142万1千円

## 園芸作物の生産拡大・振興に向けた支援

新規  
重点

新たに園芸に取り組む若手農業者や後継者等を育成するための体制づくりや研修、栽培指導等を実施します

関連予算 386万7千円

## 旭川空港の国内・国際航空路線の維持・拡大

重点

旭川空港の利用活性化に向けたPR活動や運航支援、国際線ターミナル増築に合わせたエプロン（駐機場）の拡張など、空港施設の整備等を実施します。また、北海道内の空港運営一括民間委託に向けた手続き等を実施します

関連予算 4億9,678万5千円

## 企業誘致による地域経済の活性化や雇用機会の拡大

重点

動物園通り産業団地への早期の企業立地を目指し、周辺3町と連携して積極的な企業誘致を推進します

関連予算 5,471万8千円

## 学校・家庭・地域で子供を育成

重点

子供の成長を地域で支えるため、保護者や地域住民等が学校運営に参画する仕組みづくりであるコミュニティ・スクールを3つのモデル地区に導入します

関連予算 520万6千円

## 地域の主体的な活動を支援

重点

地域まちづくり推進協議会で地域の課題を共有し、その解決に向けた各種地域団体の活動への補助を拡充します

関連予算 1,151万円



温もりある地域にするための予算だよ



## 合葬式施設の整備

旭川聖苑（東旭川町倉沼）内に建設する、承継者を前提としない合葬式施設を9月の供用開始に向けて整備します

関連予算 1,426万2千円

さらに詳しく

**永代使用料** 1体26,000円（周辺8町の方 1体39,000円）  
**利用条件** 申請者または亡くなった方が、市民か周辺8町の方  
**その他** 条件に該当する方が利用でき、先着や抽選による利用決定ではありません。遺骨を納めた後は取り出すことができません。  
※利用申請については、本誌などでお知らせします。

【詳細】市民生活課 25・5150

## 地域の拠点整備

地域住民が安心して生き生きと暮らしていけるように、健康・生きがいづくりや、スポーツ、防災など様々な活動拠点として、幅広い世代が交流できる「緑が丘地域複合コミュニティ施設（仮称）」の建設に着手します

関連予算 3億9,857万円



平成31年秋オープン予定の緑が丘地域複合コミュニティ施設（仮称）

## 中心市街地のにぎわいの創出

市民や観光客でにぎわい親しまれる空間をつくるため、北彩都ガーデンに撮影スポットとなる植栽等を整備する他、イベントなどを実施します

関連予算 6,568万5千円

## がん対策の充実

20歳の方と、国民健康保険加入者の35～70歳までの5歳ごとの年齢の方で特定健診を受診する方を対象に、胃がんの発症リスクの低減につながるピロリ菌検査の費用の一部を助成します（自己負担500円）

関連予算 2億5,030万7千円



今年度の予算は、一般会計と特別会計を合わせて2,736億4,567万4千円で、前年度からは、106億1,701万2千円、3.7%の減となりました。このうち、福祉や子育て支援、教育など、市民生活全般に関わる一般会計は1,553億1,000万円で、前年度と比べて35億4,000万円、2.2%の減となりました。収支不足のため、前年度に引き続き、財政調整基金を取り崩す予算（今年度は9億8,000万円）となっています。

### 「旭川市の予算はどうなっているの？」 をご覧ください

予算の内容や財政状況、主な事業を分かりやすくお知らせする冊子「旭川市の予算はどうなっているの？」を、市政情報コーナー、各支所・公民館などで4月末に配布します。

## 一般会計予算の内訳

### 収入

**市税**……………400億円  
市民税、固定資産税、軽自動車税など

**国庫支出金**  
……………327億9,152万3千円  
個別の事業ごとに、  
国から交付されるお金

**地方交付税**  
……………321億9,500万円  
市の財政力に応じて、  
国から交付されるお金

**市債**……………134億6,890万円  
公共施設の建設事業等のための借入金

**その他**………368億5,457万7千円  
地方消費税交付金、道から交付されるお金、  
施設の使用料など

私立認可保育所等の  
建設補助の減などにより、  
7億7,060万2千円の減

私立認可保育所等の  
建設に関わる補助金の減  
などにより、9億1,523万5千  
円の減

北海道から受託する  
都市計画道路整備の減  
などにより、19億8,247万1  
千円の減

産業団地開発事業債  
や臨時財政対策債の減  
などにより、15億3,830万  
円の減

商工費貸付金の減など  
により、14億6,142万4  
千円の減

### 支出

**民生費**……………692億304万3千円  
子育て支援、高齢者・障害者支援、  
生活保護等の福祉事業など

**職員費**……………177億1,000万円  
市職員の給料、退職手当など

**公債費**……………176億1,393万7千円  
市が借りたお金の返済とその利子

**土木費**……………167億2,145万9千円  
道路や公園の整備、除排雪など

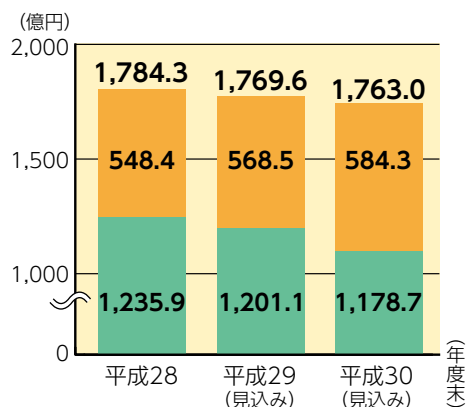
**衛生費**……………95億5,966万5千円  
医療費助成やごみ処理など

**商工・農林水産業費**90億1,967万2千円  
商工業や農林業への支援など

**教育費**……………87億4,610万6千円  
小・中学校の建設や運営など

**その他**……………67億3,611万8千円  
総務費、消防費、議会費など

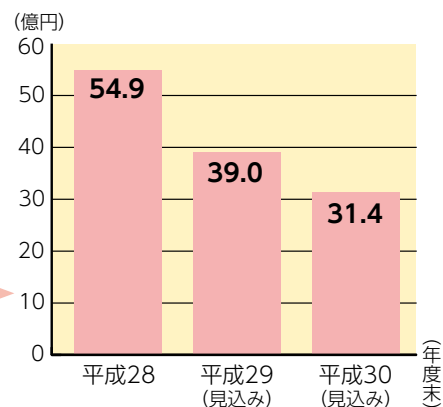
### 市債残高の状況



臨時財政対策債の残高が増えていますが、建設事業等債の借入を抑制しているため全体の残高は年々減少しており、平成30年度末は、同28年度末から21.3億円減少する見込みです。市債は世代間の負担を公平にする役割があり、引き続き計画的に借入を行っていきます

平成30年度末で31.4億円になる見込みです。不測の事態に備え、必要なときに取り崩して使うため、できるだけ減らさない財政運営に努めます

### 財政調整基金残高の状況



臨時財政対策債＝国の財源不足による地方交付税の不足分を補うための借入金（元利償還金は全額地方交付税に算入される）  
建設事業等債＝道路や学校などの建設事業等のための借入金